

飛行船



心をひとつに、力の限り

～体育大会に向けて～

5月5日に立夏を迎え、暦の上では「夏」。中間テストも終わり、次は「体育大会」に向けての取り組みが24日から始まっています。今年はどんな熱戦がくりひろげられるのか。今からとても楽しみです。1年生の時と比べて身体と心の両方が成長し、何をどう頑張ればいいのかも、わかっているからね。きっと迫力のある、気持ちのいい演技になると期待しています。

体育大会は学校行事のひとつ。学校行事の主役は「生徒」。どんな体育大会を創るのか。各クラスがレース、演技で順位を競うだけでなく、その競技を支える役割分担も「生徒」が担います。レースや競技に向かうその移動のときも私たちの演技。だからこそ、その行事を通して「協力」「団結」を目指して欲しいです。口で言うのは簡単です。どうすれば「協力」なのか、なにをすれば「団結」になるのか。ひとり一人が考えないといけませんね。



「心をひとつに、力の限り」今年のスローガンです。全力で取り組む先に見えてくるものがあるよね。

学級旗づくり

「できればいい」のではない。「ぺっ、ぺっ、ペーっ」と色ぬって終わりではない。それぞれのクラスの思いのこもった学級旗。ひとり一人が原画を考え、クラスで時間をかけて決定。大きく拡大して旗に写して色をぬる。失敗しないように、ていねいに、慎重に。ひと筆ひと筆入れていく。そこに学級の色が見えてくるね。実行委員が作成しているところもあれば、有志が集まっているところもある。手作業でひとつひとつ創られているところに意味があるよね。1つのものを創り上げていく中で、クラスのひとり一人の距離が近くなっていく。たわいない会話が飛び交う中、その距離を近づけていく。そんな雰囲気学級旗づくりの場にはあるね。あったかい雰囲気の中で創られる学級旗だもん。ステキなものができるはずです。



3年生の渡り廊下掲示板に貼ってある「詩」です。

じっくり読んで考えてみよう。何度も読んで考えてみよう。自分の「行為」について考えてみよう。



綱引き

恒例の「綱引き」。クラスみんなが参加できるのがいいね。ひとり一人出せる力の大きさは違うけど、それをひとつにまとめるところがいいね。自分のやれるところを精一杯。そこに「綱引き」のよさがあるよね。

台風の日

昨年の背渡りリレーに続いて、今年は「台風の日」。4人1組で一本の棒を持ってコーンをスラロームで走り抜け、Uターンは2回まわって、またまたスラロームで帰りを走り抜けます。次の人へは全員足元に棒をくぐらせ、全員が飛び越えてから、頭の上を棒が通過して交代。昔からある伝統的な競技ではあるけれど、とてもおもしろい。スピード感、足元を飛び越えるときのタイミング。協力・団結。きっと燃えるよ！。

勝利のコツは……。それぞれの担任の先生からこっそり聞いてください。

4月に学年で取り組んだ「大縄跳び」を精一杯楽しめた君たちですから、きっといいレースになると思います。どんなことでも精一杯やりきるからこそ、楽しいのです。

